サンプルテキスト

CAE強度設計のための力学講座

サイバネットシステム株式会社





CYBERNET

サンプルテキストについて

- 各講師が「講義の内容が伝わりやすいページ」を選びました。
- テキストのページは必ずしも連続していません。 一部を抜粋しています。
- テキストの複写・複製・無断転載・転用は固く禁じます。

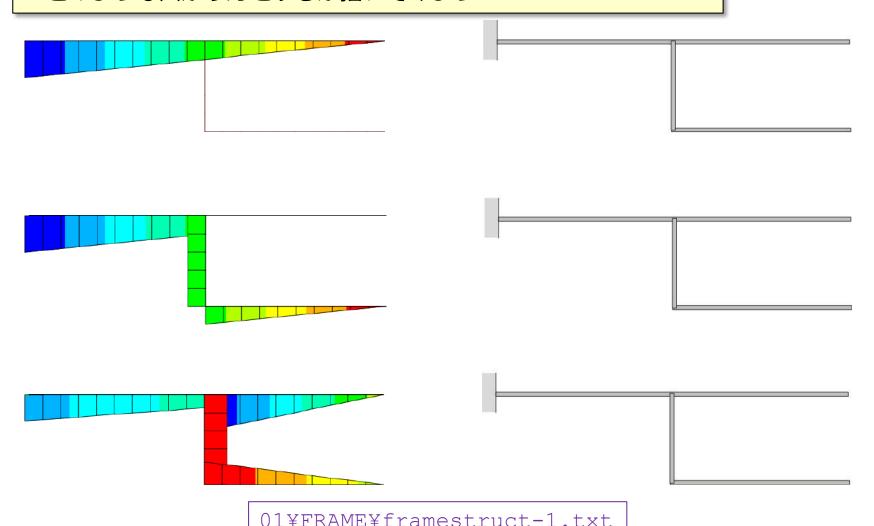


曲がり方の予測~洞察&数値計算~



Q: 曲げモーメント図から推察して、どんな負荷条件/境界条件で、 どのような曲がり方をするか描いてみよう.





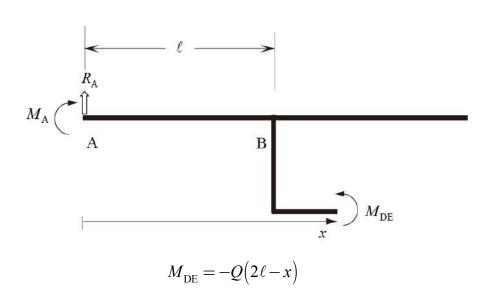
計算機演習

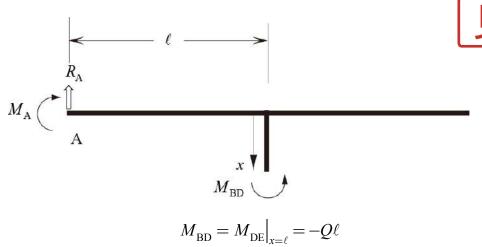
01\frame\frame\frame\frame\frame\tauct-2.txt 01\frame\

フレーム構造のモーメント図〜理論〜

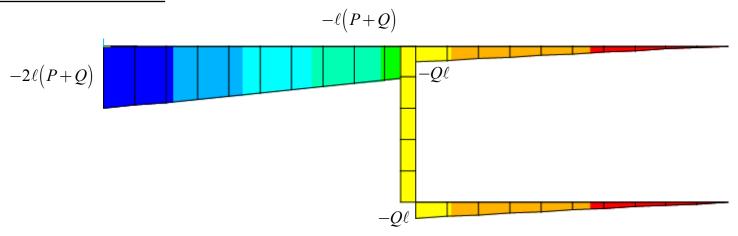








曲げモーメント図

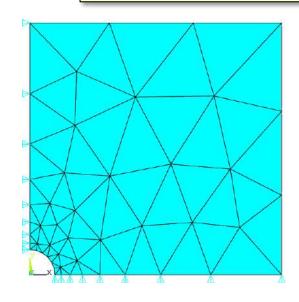


材料強度:円孔



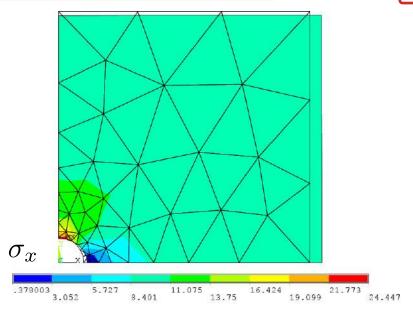
Q: CAEで応力集中係数が算出できるかトライしてみよう。

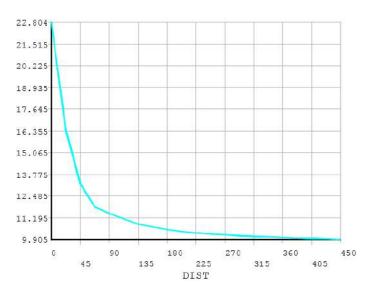




Q: 理論解を再現する(精度を上げるには) にはどうすればよいか?

03\STRENGTH\strength-A.txt

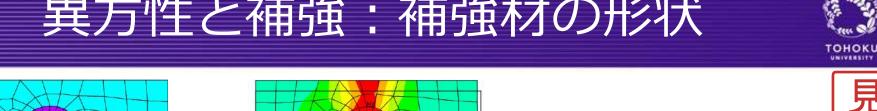




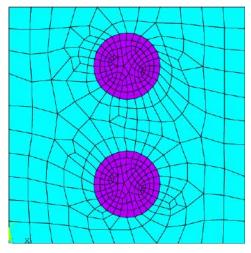
計算機演習

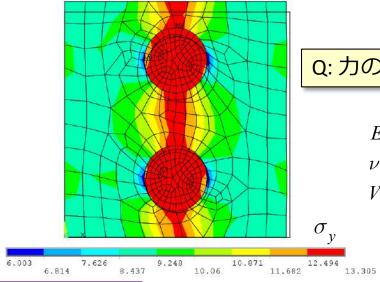
異方性と補強:補強材の形状





10.602





Q: 力の伝達(流れ)を可視化しよう

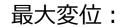
E = 20 GPaE' = 200 GPa

 $\nu = 0.3$ $\nu' = 0.25$

 $V_{\rm f} = 0.126$ $V_{\rm f}' = 0.874$

03\ANISO\inclusion-02.txt

※補強材の量(体積)は inclusion-01と同一



nsel, s, loc, x, 0nsel, r, loc, y, 1000 prnsol, u, y

最大y方向垂直応力:

/post1 nsort, s, y *qet, smax, sort, , max *stat, smax

計算機演習

03\ANISO\inclusion-03.txt

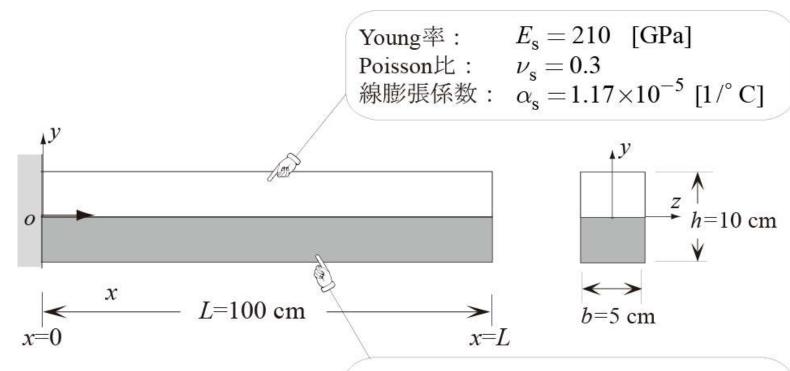
Use operation.txt

熱と応力:熱膨張による形状変化



Q: $\Delta T = 100$ °C の温度上昇があると、構造物はどのような挙動を示すだろうか?





 $\alpha_{\rm br} > \alpha_{\rm s}$

Youngæ: $E_{br} = 91$ [GPa]

線膨張係数: $\alpha_{\rm br} = 1.87 \times 10^{-5} \ [1/^{\circ} \ {\rm C}]$

熱と応力:熱膨張による形状変化





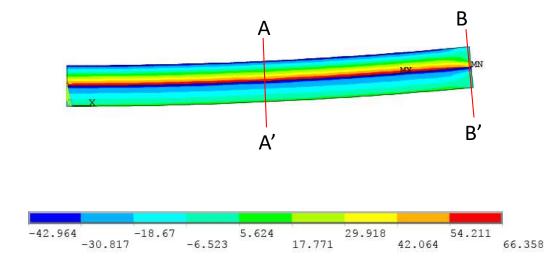


 $\Delta T = 100$ °C の温度上昇があるとき,

Q: 最大たわみ量はいくらか?

Q: 温度上昇による軸方向応力の分布は?

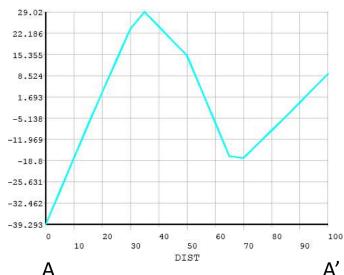
Q: 応力を説明してみよう

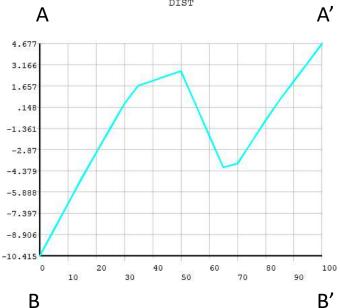


04\text{\text{YHEATEDBEAM\text{Y}heatedbeam.txt}}

Q: 特徴的な応力分布は?







計算機演習

複写厳禁

構造強度:座屈と固体のFEM



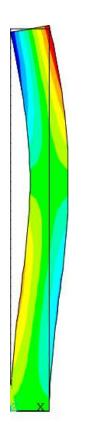


座屈荷重の理論解

05\pmg BUCKLE2D\pmg buckle-b.txt~ buckle-e.txt

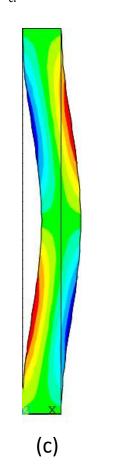
見本

$$P_{\rm cr}^{(b)} = 8.22 \times 10^6$$

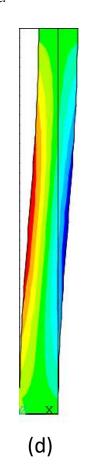


(b)

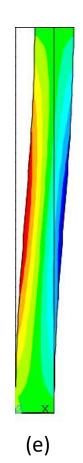
$$P_{\rm cr}^{\rm (c)} = 16.4 \times 10^6$$



$$P_{\rm cr}^{\rm (d)} = 4.11 \times 10^6$$



$$P_{\rm cr}^{\rm (e)} = 1.03 \times 10^6$$



Q: 要素の次数や, 要素数を変えてみたらどうなるだろうか?